

平成 23 年度第 1 回 長野市廃棄物減量等推進審議会 議事録【要旨】

開催概要】

開催日時：平成 23 年 4 月 18 日（月）13 時 30 分～15 時 40 分

開催場所：長野市役所第一庁舎 8 階 第二委員会室

【 目 次】

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 環境部長あいさつ
- 4 事務局自己紹介
- 5 前回の議事録確認
- 6 議 事
 - (1) 長野市一般廃棄物処理基本計画について
 - (2) 平成 22 年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施状況について
 - (3) 平成 23 年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画（案）について
 - (4) 専門部会の設置について
 - (5) 平成 23 年度審議会開催予定について
- 7 その他
- 8 閉 会

【 議 資 料】

- ・ 平成 22 年度第 4 回長野市廃棄物減量等推進審議会議事録（要旨）
- ・ 資料 1 長野市一般廃棄物処理基本計画
- ・ 資料 2 長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版
- ・ 資料 3 平成 22 年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施状況について
- ・ 資料 4 平成 22 年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画（案）
- ・ 資料 5 平成 23 年度審議会開催計画（案）

【 出 席 委 員】 10 名

【 欠 席 委 員】 4 名

【 事 務 局】 14 名

【 観 道 ・ 傍 聴 者】 2 名

【 議 事 内 容 (要 旨)】

1 開 会

会議の成立と公開について報告（事務局）

2 会長あいさつ

東日本大震災の影響で皆さんも大変だと思いますが、本日は、平成 23 年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画（案）を中心として審議いただきたいので、よろしく願います。

（会長）

3 環境部長あいさつ

お忙しい中、お集まりいただき、感謝申し上げます。

3月11日発生の東日本大震災において、大変な被害が広範囲に渡って発生しました。長野市としても色々な形で支援していきたい。

昨年度はし尿処理手数料及び一般廃棄物処理基本計画について、審議していただき感謝申し上げます。

委員の皆様には本年度もよろしくお願ひ申し上げます。(環境部長)

4 事務局自己紹介

平成23年度事務局職員の自己紹介。(事務局)

5 前回の議事録確認

平成22年度第4回審議会の議事録(要旨)の確認が行われ、訂正箇所なしで承認された。

6 議事

(1) 一般廃棄物処理基本計画について

資料1「長野市一般廃棄物処理基本計画」および、資料2「長野市一般廃棄物処理基本計画 概要版」により説明(事務局)

<以下、質疑応答>

(委員) 基本計画の策定に伴い、市民へのアピール方法はどのようにやるのか。

(事務局) 概要版を使用して説明していき、また、ゴミ通信でも基本計画の策定や取り組み状況を掲載していきます。

(委員) 市民へ対しての普及啓発用として、普及版の作成は考えていないのか。

(事務局) 現段階では普及版までは考えていませんでしたので、今後検討していきます。

(2) 平成22年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施状況について

「資料3「平成22年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施状況について」により説明(事務局)

<以下、質疑応答>

(委員) 3ページの2番、「地域や学校等との連携強化」で、学校版EMSは小・中・高、また、公立・私立の全てが対象なのか。そのうち申請・認定がどのような関係になっているのか。

4ページの5番、「マイバック持参の推進」で、持参率46%となっていますが、協力店でのノー・レジ袋デーやその他の取り組み期間中の持参率なのか。キャンペーンやある一定の場所と期間に行なったデータなのか教えていただきたい。

6ページの14番、「ごみ処理の効率化」で、意欲的に廃棄物会計に取り組んでいたが、可燃ごみ処理単価について質問がある。平成20年度は24.22円/kg、平成21年度は27.95円/kgで10%強も処理単価が上がっているが、要因は何でしょうか。

- (事務局) 学校版EMSの対象は、長野市立の小・中・高の全校。私立も含まれています。
- (委員) 累積実績で12校となっていますが、全体の校数はどのくらいですか。
- (事務局) 全体数の把握はしていません。申請が12校、認定済みが9校、残り3校については、認定に向けて活動中です。
- (委員) 廃棄物だけではなく、水・大気・エネルギー等の項目が関連した学校版EMSだと思いますが、他との連携はどのようにやっているのでしょうか。
- (委員) 教育委員会でやっているのではないかと。全体数は約700校あります。
- (事務局) 実績においては、環境部環境政策課で行なっておりますので、環境部局で連携を取っていききたいと思います。
- (委員) 非常に良い取り組みだと思うので、もっと勧めていただきたい。700校もあるのであればまだ寂しい感じがするので、積極的に勧めていただきたい。
- (委員) マイバックについては、私が当事者のため説明します。全スーパーではなく選択した5店舗で、3月29～31日の3日間、10時半から12時半、1時半から3時半まで行ないました。消費者団体・パートナーシップのレジ袋チームが、レジ袋持参率ではなく環境に配慮しているか配慮していないかを目視で調査しました。例えば、段ボールを利用している、ガムやペットボトルを一つ購入した場合も環境配慮型としてカウントしました。持参率となると本当に貰わない人ですが、今回の調査はどのくらい環境意識があるかということで調査しています。前は男女、若年中年高年と細かく調査しました。千曲川流域の佐久市から飯山市までの地域で、3月に調査を行い、それぞれ持ち寄って検証することになっています。
- (委員) 例えば上田市は昔から分別が盛んな市ですが、地域の差は大きいですか。
- (委員) これから全体会を開くので、まだ分かりません。
- (事務局) 5店舗の中で高いところは58%、低いところでは31%という結果です。平均して46%という結果になります。
- (事務局) 14番のごみの効率化ですが、合併した信州新町・中条村の収集費用が増えている点、また、焼却施設の修繕が多額に掛かっており、単価が上がった。

(3) 平成23年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画(案)について

「資料4「平成23年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画(案)」により説明(事務局)

休憩

<以下、質疑応答>

- (会長) 生ごみを抑制に伴い自家処理機器の購入補助や段ボール講座を開催しているが、生ごみは減っているのか。
- (事務局) 平成22年度生ごみ処理機器購入補助が514個、平成21年度では約1,000個で、約半分減っています。また、段ボール講座を21年度から実施し、数千人参加しています。このことから段ボール肥料へ移行していると解釈し、生ごみを処理している人が増えていると思います。量については、全体ごみ量は約1割弱減ってきており、また、可燃ごみの4割は生ごみというのは組成分析で分かっていますが、どれくらい量が減っているのか分析や推計は難しい。
- (委員) 全体量が減ってきているのであれば、単純に生ごみも減ってきているのではないかと。良い方に解釈したい。
- (事務局) 連動して減ってきていると思います。

- (委員) 特定の集積所で、サンプリングして内容を分析しているのは、それで経年変化は見られませんか。
- (事務局) 一般廃棄物処理基本計画の27ページに、平成17年度から可燃ごみ量の組成分析結果を数字で示しています。生ごみ量については、H21年が57.2%、H22年が36.5%、6ヵ年平均にすると46.6%という結果になっています。
- (委員) 使い捨てライターについて提案したい。私那不燃物回収当番時に、回収業者が一つ一つ袋を破いてライターを探し出しているのを見掛けた事があります。この作業をやらずにうっかりしていると収集車を燃やしてしまい商売にならないと言っていた。私の区だけやって良いか分かりませんが、使い捨てライター専用に入れ物を用意し、次の不燃ごみ収集時に業者へ渡す方法はどうか。
- (事務局) パッカー者の火災が増えているなかで、貴重なご意見をいただきました。物理的に可能なところで試験的に実行できるように検討していきたい。
- (会長) 電動ドリルで穴を開けてガスを抜けば良いが、道具が必要になってきますし、釘で行なうのは大変です。
- (事務局) 収集車の火災を防止する意味で貴重な意見をいただいた。不燃ごみとして回収しており、手数料の問題もあるので、連携して検討していきたい。
- (委員) 22年度の重点項目11項目の中で、23年度の重点項目の15項目に重複しているもの、あるいは外したものの説明をお願いします。
- (事務局) 22年度の資料で説明します。5のマイバック持参の推進、21の生ごみ自家処理の推進、23の有機資源環境システムづくりの検討、29のわかりやすい啓発活動の推進は、23年度も重点項目になっています。
- 33の分別指導の徹底は具体的に出てきませんが、わかりやすい啓発活動という部分からすると引き継いでいる。
- 19の監視体制の充実、40の大量排出事業所への立ち入り指導の実施も引き続き重点項目にしている。
- 46の紙類の可燃ごみへの混入防止策の検討及び47の機密文章再資源化への誘導については、言葉が違いますが多量排出者という意味での実施調査ということから、引き継いでいる。
- 58の搬入時の分別指導の強化、59の搬入検査体制の強化についても、重点項目としている。
- 大部分の項目が23年度も重点項目としています。
- (委員) 市民が一生懸命やりましょうというのがとてもよく分かり良い感じが出ていますが、事業所の方でももう少し分別が出来れば、かなり資源化が出来るのではないかと。
- (事務局) 事業系の中には産業廃棄物・一般廃棄物の二種類あります。その一般廃棄物の中に生ごみや紙類がありますが、立ち入り調査の時に資源化できるということで指導しています。なお、23年度の取り組みで重点項目にしています。
- (委員) 5ページの1.3.1の で、チラシの配布数が1,000部から2,000部に倍増していますが、配布数は事業所数になるのか。指導回数になるのでしょうか。
- (事業所) 対象の事業所数です。
- (委員) 前は大きな事業所を対象にしていたが、今回は小さな事業所も対象となるのか。
- (事務局) 22年度は飲食店を中心にチラシを配布しましたが、本年度は飲食店に加え、理美容業・公衆浴場・遊戯施設等を対象とし、保健所とタイアップして対応します。
- (委員) 6ページの基本施策1-4市のごみの発生抑制の推進について、庁内の会議の中では、可能な限りペットボトルを止めていただきたい。
- ゴミ通信の中に、毎回レジ袋の削減の記事を掲載してほしい。
- (事務局) 庁内の会議でどれだけペットボトルを使用しているか把握していないが、出来る限り使わないよう関係担当の課へ協議していきたい。

レジ袋削減の記事は、ゴミ通信の余白へ毎回掲載できるよう検討していく。

- (委員) お茶だしは職員のコストが問題になるのでは。
- (委員) 価値観を転換することは難しいが、宣言やアピールになるのではないか。
- (委員) ちゃんと分別すれば、ペットボトルを使用しても良いのでは。
- (委員) 一般廃棄物処理基本計画で発生抑制を謳っているので、ペットボトルの使用を止めてほしいと申し上げた。
- (事務局) 一番の目的は発生抑制ですが、ケースバイケースがあろうかと思えますし、失礼があってはいけない場面があろうかと思えますので、提議しながら検討させていただく。
- (委員) 使い捨てライターについて、全国都市清掃会議の中で、メーカーへもっと簡単にガスが抜けるような取り組みを促してほしい。

3月11日発生の東日本大震災は、生活のあり方・ものづくり・エネルギー利用等、日本中に大きなインパクトを与えました。また、東電の計画停電や買い溜めの影響も含め、災害ごみ処理実施計画の策定は大きな取り組みになる。3.11東日本大震災のことを考え、不要不急なものは買わない、直ぐにごみなるものは買わない等、発生抑制の一つと考えて策定に取り組んでほしい。

また、3.11東日本大震災の後、自治会を見直す動きが出ている。地域で助け合う、意思を疎通できる関係作りが、災害・防災を含めて大事だという認識が高まっている。福祉問題・地域コミュニティの再生・自治会の見直しの視点を入れながら、パートナーシップ・協同・コラボレーションを盛り込んで、災害ごみ処理実施計画の策定に取り組んでほしい。

12ページの3.3.1の監視体制の充実について、の平成22年度の実績が54日、平成23年度の目標値が48日で減っています。も同様に減っていますが、は10日増えています。重点項目になっていますが、延べ日数が減っているため、どのように理解したらよいか。

- (事務局) 監視体制の充実について、のパトロール及び回収の日数は、基本的に週1回金曜日に行なっているため、48日がベースになります。なお、不法投棄の多い場所は1日で終わらず2～3日かかったため、22年度は日数が増えています。についても同様の考え方で、不法投棄対策特別チームの勤務が平日のため、平日の日数でカウントしています。については、1回あたりの単価を下げただいたため、10日増やすことができた。予算ベースで設定しており日数が減少していますが、取り組みは昨年度同様に行なっていきたい。

使い捨てライター、災害ごみ処理実施計画の策定について、貴重な意見をいただきましたので、検討させていただきたい。

- (副会長) 22年度は実績だから、23年度は状況が悪ければ実績日数が増え、不法投棄が少なければ稼働日数が少なくなるということですね。
- (事務局) そうです。不法投棄は全庁的な問題になっています。不法投棄しにくい環境づくりを心掛け、稼働日数は少ないが、内容で勝負したい。
- (会長) 23年度実施計画(案)につきましては、このとおり決めさせていただきます。

「はい」という声あり

(4) 専門部会の設置について

- (事務局) 年々し尿の収集量が減少するに伴い、収集業務・処理が将来的に適正に実施できるよう今後のあり方が問題となっています。そこで、若穂地区を除く旧長野地区の収

集委託事業者の収集量が減少するなか、減車する車に資金補助を行なっていますが、今後資金援助するべきか事務局で問題としています。第4次合理化事業計画以降の方向性について、事務局で検討しています。必要性が生じた場合、2回ほど審議会の開催が必要になります。本日はもしそうなった場合に備えて専門部会を予め設置させていただき、また、専門委員選任の承認をお願いするものです。

(会 長) 具体的にいつ何をやるか決まっているのか。

(事務局) どういう方向性を持っていくかまだ事務局で出ていませんから、具体的には言えません。今後審議が必要となった場合はお願いしたい。

専門部会の委員に就任していただく委員の発表。

(5) 平成23年度審議会開催予定について

「資料5「平成23年度審議会開催予定について」により説明(事務局)

<以下、質疑応答>

(会 長) 具体的に決まっていないが、7月から10月の間に専門部会を開くということか。

(事務局) 今の段階ではいつになるか分かりませんが、開催する際は時間帯の調整等をさせていただきます、開催させていただきたい。

(会 長) 予め承知しておいてほしいということですね。
よろしいですか。

「はい」という声あり

(事務局) 一点補足させていただきます。

議事の中で23年度ごみ処理実施計画における具体的施策の実施計画(案)を承認していただいたが、この計画は、一般廃棄物処理基本計画の下にごみ処理基本計画、更にその下にごみ処理実施計画があります。一方では生活排水処理基本計画、その下に生活排水実施計画という組み立てになっています。ごみ処理実施計画においては、具体的施策の実施計画を本日審議いただきました。具体的施策に加え、収集運搬・最終処分場施設の関係等を実施計画の中を含め、公表をします。併せて生活排水実施計画も含め、一般廃棄物処理実施計画ということで公表します。

(会 長) 以上で本日予定しておりました議事は終了します。円滑な議事の運営にご協力いただき、感謝申し上げます。

7 その他

専門部会が無い場合、次回の審議会については、改めて案内する。(事務局)

本日の議事録は、事務局でまとめたものを次回の審議会でお配りし、承認後に公開したい。簡単な日時や概要等をまとめた簡易的な開催結果と本日の資料は、別途ホームページで公開させていただき。(事務局)

8 閉会

(15時40分閉会)